

事業計画書

事業名	荒廃農地を活用して野菜づくりで浮島・原地域活性化活動
実施場所	荒廃農地原2747-2及び 沼津市地区センター
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 令和2年 4月 1日～令和3年3月 20日

◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載して下さい(事業の紹介などで使用します)。

打ち合わせ役割や確認は毎週月曜日に未来塾の事務所で会員のみ9時から実技は水曜朝、掲示、農園長の説明で1対3人を原則として実技開始。終了後反省会を行う、次回の予定も説明する

1. 春夏野菜講座を4月に秋冬野菜講座を9月に開催します
土づくりから始めますからこれから野菜作りを始めたい人には絶好の機会です
プランターでの栽培と管理の方法も習得します
2. 畑で実際に鍬等農具を学びながら種から苗から栽培体験します
畝づくりや間引き、土寄せ害虫対策も実技研修できます
学習費は収穫まで含んで前期6カ月4,000、後期4,000円です
3. 実習では年齢も男女30代から70代まで交流しますから人生の学びの場になります
趣味など語り合ううちに友だちも出来生活にも張りあいができます
年令の制限はありませんが野菜づくりと健康に関心のある方は歓迎します
4. 野菜の栽培体験は4月から10月まで28回、収穫体験は春夏野菜で5種類、秋冬野菜で4種類行う
5. 男の料理体験会は浮島・原地区の交流事業と沼津全域を対象に沼津市の地区センター調理室で7月に夏野菜と肉11月に秋野菜と魚介類をメインに行います

(令和2年度のステップアップ)

・令和元年度に1回しかできなかった植付から収穫までの体験教室を複数回に増やしていきます。

・バターナッツの試作(調理の仕方等)について、地元の高校(県立西高校、市立沼津高校)と連携した取り組みを実施する予定です。

・生産物について、菓子工業組合等と製品化に向けた取り組みを強化していきます。

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

共生社会を実感するには野菜づくりが適しています、これまでの実績から視覚障害の県立高校 市立高尾園、松風荘、NPO ティンクルなど多数受け入れてきました放課後倶楽部の子供たちも参加しました。地域交流は青空のもとで行うと効果がすぐ現れます、地区センターの補完の一助にもなります。人口減少に伴いお祭りも減ってきていますがお祭り同様の役目も果たします但し障害者との共生は普段からの交流と周囲の理解と参加者の理解が前提になります 事前の打ち合わせは勿論のことスタッフ施設の担当者とのコミュニケに十分な時間をかけることが必要です

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。</p> <p>実施場所：アグリの里沼川ガーデン 打合せ場所、会議、資料作成：IBA 未来塾事務所 参加募集：2カ月前広報掲載、チラシ募集、原浮島岡自治会 役割等：農園長、事業部長の指示のもとに活動する</p> <p>4月 じゃがいも植え付け・トマト植え付け 野菜講座(学習会)</p> <p>5月 とうもろこしの種蒔き</p> <p>6月 ジャガイモ収穫 サツマイモ植え付け</p> <p>7月 トマト・トウモロコシ収穫 大人の料理教室</p> <p>8月 夏野菜収穫</p> <p>9月 野菜講座(学習会)</p> <p>10月 秋野菜収穫</p> <p>11月 サツマイモ収穫 大人の料理教室</p> <p>12月 大根収穫</p> <p>3月 ほうれん草収穫</p> <p>その他、バターナッツの試作（調理の仕方等）について、地元の高校（県立西高校、市立沼津高校）と連携した取り組みや、生産物について、菓子工業組合等と製品化に向けた取り組みについて、随時、実施していきます。</p>

◎事業効果

<p>※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。</p> <p>見放された耕作不農地と見放された土地を見直される。沼津市内の同様の利活用の手本になる野菜づくり体験は家族連れや障害者と共生を身近なテーマになる。野菜不足が指摘されてサプリメントばかり話題になるが野菜の持つ本来の力を認識する機会となる</p> <p>高齢者の生きがいの場になる。参加者が増えることでもっと多くの福祉施設に寄付できる食と農を通じて本来の地域交流が見直される</p>			
成果指標	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。</p> <p>前年度参加者数 延べ 290 名(料理 60 名・体験学習・収穫祭 230 名)</p>	指標の 検証方法	<p>※左記指標の検証方法を記載して下さい。</p> <p>前年参加者の 50%アップ 延べ 430 名(料理・体験学習・収穫祭等)</p>

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

公益性 ・ 必要性	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。</p> <p>※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。</p> <p>野菜づくりは食と農の基本であり、誰でも気軽に初心者でも参加できる、活動時間は2時間と制限しているので誰でも継続して参加できる。野菜の成長過程を観察したり赤くなった実りを収穫体験することは生きている喜びに通じる健康増進にもなり自立した生活も楽しくなる税金の無駄遣いもなくなる</p>
地域性	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <p>荒廃農地には産業廃棄物が25年以上放置され其のままになっていた2カ月かけて搬出選別処理をしたここからスタートしたこの費用は自費で賄ったが周囲の景観も一層よくなり</p> <p>沼川にはシラサギやカモ等沢山飛来するので観光資源としても価値が増してくる一帯は人の往来も増えることで鹿など迷惑動物も減少することを期待する</p>
先導性	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <p>荒廃農地を活性化することが環境上も良くなり人の往来が始まり沼川の観光資源をも活性化させる</p> <p>沼津市内には他にも見放された土地がたくさんあるので青空のもとで交流が増進するよう野菜の他に果物や花畑を作ることをお勧めする</p> <p>因みにアクアプラザのトイレ入り口と遊水池の東側に小さいながらも花壇を作り四季折々の花を楽しんでもらっている、さらに南側にどんぐりを植栽5年たって4~5メートルになり日陰を提供しているここも自費で賄った</p>
発展性 ・ 継続性	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。</p> <p>※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などについてどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <p>野菜づくりは食の基本であるからは是非後に続いてほしいが土地の所有者の理解と指導者の育成が課題、野菜づくりにはホリデーが無いので農家中堅がグループで指導する体制が欲しい</p> <p>露地の栽培で収益を上げるのは難しい、八百屋の減少で市場が機能していない農家も農協の店先で売っている有様で非農家が販売に手を伸ばすのは嫌がらせを受ける、過去に福祉施設に提供した野菜を街頭で売って中止を要請されるありさまです、様々な体験企画で参加料を頂く</p>
実現性	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。</p> <p>※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p>

妥当性	<p>荒廃地の活用は資金を要するのでファンドなどで資金調達の方法をたてる 自己資金には限界があるが事業に取り組むことに意義があるのでやるまでです</p>
活動に対する熱意	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。 20年以上見放された農地や高齢の女性に頼まれ荒地から活動してきた、宅地化されるたびに返却して次の荒地を開拓してきた世のため人のために前提にあり人の役になることをしたい思いで今日まで頑張ってきたが体が続く限り続ける覚悟です</p>

◎次年度以降の活動予定

<p>※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。</p> <p>鹿等鳥獣対策もつばらの課題ですが沼川沿いの農地はバターナッツの栽培拡大で調理の範囲が広く沼津の新メニューに食品業界など異業種とコラボしながら取り組みたい</p> <p>千葉埼玉では一人の取り組みから大きな町おこしの起爆剤になっている清水のカンズメ工場も商品化した、アジの開きや愛鷹牛を凌駕する商品が出来る事を昨年の収穫祭で調理だけでなくケーキも作り自信を得た沼津の観光客にバターナッツのフレンチやイタリアン、クッキーケーキを食べてもらいましょう</p> <p>野菜づくりは農の基本ですから継続します</p> <p>もっと多くの人に参加できるように会員を増やすことと駐車場の目途を立てることでアクアプラザの北側の空地交渉します、ご支援お願いします</p>
--

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

<p>※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。</p> <p>本来農地は開拓して3年経過しないと計画の数量と品質は確保できません</p> <p>土の改良に投資が必要ですが可能性はありますから水はけの課題など克服しながら取り組みます</p>
